

支援に感謝

# 新春農力開発

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>

新年あけましておめでとうございます。今年も頑張りましょう（川口）

## 心に花を咲かせましょ～

## 草花専攻班

枯れ木に花を咲かせましょ～有名な「花咲かじいさん」でフレーズです。内容は割愛しますが、本校草花専攻班も、地域のみなさんに元気に・明るい気持ちになってほしいと活動しています。草花専攻班の取組みの一部を掲載したいと思います。（川口）

3年生草花専攻班19名で仙台空港前花壇植栽，山田インターチェンジの花壇植栽を行いました。2，3年生17名で県庁前花時計の植栽，2年生8名で宮城県精神医療センター花壇植栽を実施しました。夏に植えられたベゴニアの花壇から，ハボタンを中心とした花壇に植え替えられました。この花壇は，春の植え替えまで楽しむことができますので，是非ご覧ください。



左から（高速道路山田インターチェンジ）中（植栽様子）右（県庁花時計）

## 収穫感謝祭 ～実りと地域に感謝して～

## 1年3組

待ちに待った実りの収穫の時期。10月30日（木）体育館前駐車場を会場に「収穫感謝祭」が開催されました。生徒が栽培した大根や人参、ネギ等を使用して、クラス毎に豚汁の調理・会食を行いました。収穫の喜びをわかちあい、生命の恵みに感謝すること。地域の方々との交流を通じて、感謝やおもてなしの態度を醸成することを実施目的としています。

今年は宮城県農業・園芸総合研究所長さんに出席していただきました。各クラスでは生徒同士の協力し合う姿や学校生活を振り返りながら生徒と先生が楽しく談笑する様子も見られました。生徒と職員、学校と地域との交流機会の一つとして、または今年の無事な実りへの感謝と翌年の豊作祈願を込めた収穫感謝祭はこれからも宮農の伝統イベントとして継承されていきます。



## 県プロジェクト出場班 第1弾 『食料・生産の部の代表として』

～食品化学科 トマト班～

食品化学科では、平成24年度より、カゴメさんの支援を受けて加工用トマト「凛々子」の栽培に取り組んできました。3年間の支援の中で、ケチャップやピューレなどの加工品の製造の復活、トマトを使った商品が各種コンテストで入賞するなど、大きな成果を残すことができました。さらに食育活動や地域との交流にも、トマトが大きな役割を果たしています。今回の県大会では、私たちとカゴメさんとの3年間のつながりと、加工用トマトで広がる交流の輪について発表します。震災から復興へ向けた私たちの取り組みが多くの方に伝わるように、心をこめて発表したいと思います。



## 県プロジェクト出場班 第2弾 『環境の代表として』

科学部 千葉仁美



今年も科学部は県大会に出場することができました。題名は「私達の百年桜への挑戦」です。

今まで3年生の先輩方がいた分、安心感がありましたが今年の校内大会からは1、2年生のみで発表することになり、正直不安でした。しかし、県大会に進むからには日々の練習を一回一回大事にし、ミスがないように努力したいです。

さらに、私たちの桜育成法ではまだまだ改善が必要です。そのため、今回の大会で何か参考になる部分があれば吸収し、今後に生かしていきたいです。

県大会では学校代表としてこれまでの活動と桜への思いを込めて発表し、最優秀賞を取り、今度こそは全国大会まで進んで最優秀賞を取りたいと思います。



## 県プロジェクト出場班 第3弾 『文化生活の代表として』

2年 齋藤春菜



去年、何も無いところから活動ははじまりました。「農業から観光へ」というコンセプトを打ち出して様々な大会で発表を繰り返してきました。この研究は「蕎麦によって飛行機から見える蕎麦アート作ること」と「ARグラスを使用した次世代観光プランの開発」の2本柱によって形成されています。今ではその将来性を高く評価してくれた宮城県、名取市、企業、大学、そして地域住民までも様々な支援と応援をしてくれています。その期待に応えるためにも、県大会では今までの成果をしっかりとまとめ、聴衆する人のために分かりやすく、心を込めて発表したいと思います。

